

AO入試（前期型）（中期型）（後期型）【専願】

1 学部・学科別募集人数

学部・学科		募集人数
商学部	経営学科	18名
	マーケティング学科	7名
経済学部	経済学科	14名
	経済情報学科	5名
人間社会学部	心理社会学科	8名
	観光学科	6名
	人間健康学科	7名

※募集人数は、AO入試前期型・中期型・後期型の合計人数です。

2 出願資格

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を終了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者。
- ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。
(学校教育法第90条、同施行規則第150条の規定により認められる者を含む)
- ④ 流通科学大学で勉学することを強く希望し、本学のアドミッション・ポリシーに該当する者。

AO(アドミッション・オフィス)入試について

AO入試とは、学力試験や偏差値では測れない秘めたる能力や、本学のことをよく理解し将来への明確な意欲を持った学生を発掘するための選抜方式です。

AO入試は専願制です。

アドミッション・ポリシーについては5ページを参照してください。

3 入試日程

	出願期間	試験日・試験地	合格発表日	入学手続締切日
前期型	9月20日(水) 10月10日(火) 最終日消印有効	10月22日(日) 神戸(本学)	11月1日(水)	一次手続: 11月24日(金) 二次手続: 1月12日(金)
中期型	11月20日(月) 12月5日(火) 最終日消印有効	12月16日(土) 神戸(本学)	12月22日(金)	[一括] 1月12日(金)
後期型	2月5日(月) 2月27日(火) 最終日消印有効	3月10日(日) 神戸(本学)	3月16日(土)	[一括] 3月22日(金)

自然災害等の発生により試験日を変更する場合の試験予備日は以下の通りです。

前期型: 11月5日(日) 中期型: 1月6日(土) 後期型: 3月11日(月)

4 出願書類

- ① 志望理由書〔本学所定用紙〕
本学入試情報サイトまたはインターネット出願画面からダウンロードしてください。
 - 本人が自筆で作成してください。
 - ⑩ 志望理由書・課題レポートの記入について参照。
 - 写真は出願前3ヶ月以内に撮影(正面・上半身・脱帽・無背景)したものを貼付してください。
 - 写真の裏面に、氏名(フリガナ)を必ず記入して貼付してください。
 - サイズ縦4cm×横3cm (必ずカラーの証明写真)
- ② 課題レポート〔本学所定用紙〕
本学入試情報サイトまたはインターネット出願画面からダウンロードしてください。
 - 本人が自筆で作成してください。
 - ⑩ 志望理由書・課題レポートの記入について参照。
- ③ 調査書
 - 文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したもの。開封無効
 - 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した者は、合格証明書および成績証明書を提出してください。
- ④ 写真2枚(サイズ縦4cm×横3cm、カラーの証明写真) ※1枚は①に貼り付けてください。

5 入学者選抜の方法

試験科目	選考方法	配点	時間
志望理由書・課題レポート	指定の志望理由書・課題レポートを作成して提出	100点満点	—
面接	志望理由書・課題レポートおよび調査書に基づき個人面接を実施	100点満点	20分 (受験者1名・面接員2名)

※上記の試験科目のいずれかの評価が、一定の基準に達していない場合は、不合格となります。

6 試験日の時間割

入室開始時間	集合時間	面接時間
9:00	① 9:45	10:00～ ※試験終了時間は受験生によって異なります。
12:30	② 13:00	13:15～ ※試験終了時間は受験生によって異なります。

- ①試験当日は、上記の集合時間までに指定された試験室(当日掲示)に入室してください。
- ②集合時間から30分を経過すると教室内への入室はいかなる場合も許可しません。
- ③面接スケジュールは試験当日お知らせしますので確認してください。
- ④受験者の人数により、集合時間②となる場合があります。集合時間については、必ず受験票で確認してください。

7 試験日持参物

- ①受験票(受験後は、入学手続完了まで各自で保管してください)
- ②筆記具
- ③時計(計時機能だけのもの)
※時計のアラームは使用してはいけません。
※携帯電話などは面接室に入る前に電源を切ってカバンに入れておいてください。

8 受験にあたっての注意

- ①受験票は必ず携帯してください。
当日に受験票を紛失もしくは忘れた場合は、受験票再発行所に申し出てください。
- ②自然災害等に関する取扱い
台風や地震等の自然災害の発生により、試験実施が困難と判断される場合においては、原則、試験実施予備日に変更して実施致します。なお、その他の緊急等を要する事態が発生した場合においても、試験実施の取扱いについて大学HPに情報を掲載致しますので、随時確認してください。
- ③感染症罹患に関する取扱い
試験当日、学校保健安全法によって出席停止が定められている感染症(インフルエンザ、ノロウイルス等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者及び監督者等に感染する恐れがあるため、受験をすることはできません。
ただし、医師の診察の結果、伝染の恐れがないと認められた場合はこの限りではありません。なお、上記により受験が認められなかった場合でも、入学検定料の返還及び追試験の実施等は致しません。試験当日の体調管理については、十分に注意してください。今後の状況(感染症の流行等)に変化が生じた場合、法令等や政府の方針に従って、対応方法に変更が必要な場合は適宜、大学HPにてお知らせいたします。
- ④受験上の配慮が必要な方へ
受験上の配慮を希望される方は入学試験要項(共通)のP10 受験上の配慮が必要な方へをご確認ください。

9 受験票について

受験票は、インターネット出願で登録したマイページからダウンロードしてください。
ダウンロードした受験票は、各自で印刷して受験会場にお持ちください。
<オンライン受験票ダウンロード期間>

	公開期間
前期型	10月16日(月)～10月22日(日)
中期型	12月11日(月)～12月16日(土)
後期型	3月6日(水)～3月10日(日)

- ①データダウンロードが出来る期間は公開期間の初日10:00から最終日の23:59までです。
- ②受験票のダウンロードが出来ない場合は、入試部(078-794-2231)に連絡してください。

10 志望理由書・課題レポートの記入について

① 記入する内容について

本学のAO入試の選考においては、入学後の学習計画や活動計画、および将来の具体的な目標、意欲や実現の可能性等を記入頂き、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を評価します。

これまでの実績を活かしながら、大学入学後の能力の伸ばし方や大学卒業後の活動計画などの具体的な実行プランを記入してください。

したがってビジネスのビジョンの種類・事業内容、スポーツや文化活動の種目・種類などによっての有利不利はありません。

② 志望理由書記入方法について

- 各設問に本人が自筆で、丁寧に記入してください。
記入にあたっては、黒のボールペン(消せるボールペンは不可)を使用してください。訂正する場合は二重線を引き、正しい内容を余白に記入してください。
- 志望タイプについて
あなたが今後チャレンジしたいことを選択して、1つ☑をつけてください。

〈ご参考〉

志望タイプ	志望理由例
(1) 事業承継タイプ	将来、家業を継いで経営し、さらに発展させたい!
(2) 起業タイプ	将来、会社を立ち上げたい!
(3) 課外活動タイプ	入学後、本学のクラブに所属し、チームのために何が できるかを考え行動したい!
(4) 資格チャレンジタイプ	在学中に、日商簿記検定2級を取得し、将来的には税理士になるため に簿記講座を受講したい!
(5) 社会活動ボランティアタイプ	ボランティア活動を通じて、地域の活性化に携わりたい!
(6) グローバル社会活躍タイプ	海外への興味や語学を生かした仕事をしたい!

- 高校生活での取り組みや経験について、その実績や活動内容が証明できる資料があれば添付してください。
A4サイズに統一し、のりづけ・ホッチキスどめはしないでください。

③ 課題レポート記入方法について

- 氏名、フリガナ、性別、学校名を記入してください。
- 志望学部・学科を記入してください。
- 課題テーマについて
4ページに記載の課題テーマより1つ選択してください。
共通課題は志望する学部・学科を問わず選択することができます。
学部・学科別の課題テーマを選択する場合は、志望する学部・学科のテーマを選択してください。

〈資格講座受講サポート制度〉(資格チャレンジタイプのみ)

AO入試(資格チャレンジタイプ)で合格し、入学された方は、本学が開講する資格講座を、在籍の4年間無料で受講できます。

入学後もさまざまな資格取得にチャレンジしてください。

※講座内容はホームページをご覧ください。

2024 年度入試 AO 事前課題レポート テーマ

志望学部・学科		課題 テーマ番号	課題テーマ
共通		①	企業がビジネスを行なう際に、「共創(きょうそう)」の考え方が重視されるようになってきました。共創とは、自分たちの能力だけでなく他者と協力しながら共に新しい価値を創造する、という考え方です。この言葉の意味を理解したうえで、あなた自身が企業との共創としてどのような取り組みができそうか、そしてそこからどのような新しい価値が創造されるか、ということについてあなたの考えを述べてください。
商学部	経営学科	②	ネット通販企業のアマゾン・ジャパンは、最初書籍の販売からスタートしましたが、2000年代から世界的なインターネット及びスマートフォンの爆発的な普及の追い風に乗れ、家電や生活商品など幅広い品物も取り扱い、事業内容を大幅に広げてネット上の総合百貨店となってきました。あなたの日常生活の場面を想起し、当社がいかに経営環境の変化に適応し、顧客のニーズを満たしながら経営しているかについてあなたの考えを述べてください。
	マーケティング学科	③	日本では、新聞やテレビなどのマスメディアが消費者の情報源として重要な役割を果たしてきましたが、インターネットの登場とそれに続くスマートフォンの所有率の増加などによって、多くの人がWEBサイトを閲覧して様々な情報を調べたり、ソーシャルメディアを利用したりして楽しむようになってきました。このような日本のメディア環境の変化が、企業のマーケティングと消費者の行動に及ぼす影響について、あなたの考えを述べてください。
経済学部	経済学科	④	「価格の優等生」といわれてきた卵の価格が上昇しています。 (1)なぜ卵価格が上昇したのでしょうか。理由を2つあげ、卵価格の上昇との関係を説明してください。 (2)卵価格の動向は、私たちの生活にどのような影響を与えるのでしょうか。あなたの考えを述べてください。
	経済情報学科	⑤	近年のSNSや動画投稿サイトの普及は目覚ましいものがあります。一方で、それらの投稿記事の中には、事実に基づかない「偽情報(フェイクニュース)」が紛れ込んでいることが問題となっています。あなたが実際に見聞きしたり調べたりした「偽情報」の具体例をあげたうえで、ネット上のニュースや情報の真偽を見分けるための注意点(チェックポイント)について自分の言葉でわかりやすく工夫してあなたの考えを述べてください。
人間社会学部	心理社会学科	⑥	近年、日本の選挙においては、10代・20代の投票率の低さが指摘されています。直近の国政選挙(2022年参院選)の年代別投票率をみても、総務省によると、投票率が最も高い60代の65.6%に比べ、10代は35.4%、20代は33.9%となっています。10代・20代の投票率の低さには、どのような要因や背景があると考えられるでしょうか。また若者世代の投票率の低さは、私たちの生活や社会にどのような影響を及ぼすでしょうか。あなたの考えを述べてください。
	観光学科	⑦	観光やブライダル等の「サービス」を提供する職業では、仕事としての「ホスピタリティ」が必要とされます。そこで、これまでも「サービスを消費する」ことを日常的におこなってきたであろうあなた自身の顧客経験を踏まえつつ、「サービスとホスピタリティの違いはどこにあるか」を説明し、「なぜ、サービスに関わる仕事(サービス業)で、ホスピタリティが必要とされるか」という問いに対するあなたの考えを理由とともに述べてください。
	人間健康学科	⑧	我が国は、健康寿命の延伸および健康格差の縮小に取り組んでいますが、コロナ禍の影響などにより、益々格差が広がっています。子どもにおいても、体力低下に加えて体力格差が広がっています。各世代におけるこれらの格差は、今後、大きな社会問題となると推測されます。そこで、全世代、又は各世代において、①健康や体力格差が生じた原因、②これらの格差を解消するために必要な取り組みについて、あなたの考えを述べてください。

11 奨学金等について

新生活のスタートを支援「下宿サポート奨学金」

入学時に下宿を予定している方を対象に20万円を給付します。(入学後に給付)

対象者1名に対し、入学時1回限り給付します。

※賃貸借契約書の契約日は3月末日までとし、入学手続き締切日までに事前申込書を提出してください。

事前申込書は、入学手続き書類に同封しています。

※国際交流施設(学生寮)に入居する方、親族宅に下宿する方、留学生は対象外です。

アドミッション・ポリシー

流通科学大学は、「流通科学大学学則」に定める建学の目的に基づき、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンを育成することを教育の目標とします。「ビジネスパーソン」とは、企業はもちろんのこと、自治体やその他の団体、地域などにあっても、事業としての実現性、継続性を念頭に置きながら、豊かな社会の実現に向け、具体的な行動をもって貢献できる人をいいます。

流通科学大学は、このような目標の実現に向けて、どのような人をどのようにして入学者として受入れるかに関する方針を、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)としてここに明らかにします。

本学のアドミッション・ポリシーは、全学に共通する入学者の受入れの方針と、各学部・学科における入学者の受入れの方針とによって構成されています。

流通科学大学 入学者受入れの方針

本学は、次の5つを兼ね備えた人材を育成することを目標としています。

- 1 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
- 2 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
- 3 創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材
- 4 自主・自立の精神を持った人材
- 5 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材

この方針にしたがい、本学は、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。

- 本学で学ぶことを通じて、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」としての自らの未来を開拓し、築き上げていこうとする意欲をもっている
- 高等学校(またはこれに相当する教育機関)段階までの学習経験を通じて、入学後の学修に必要とされる次のような基礎的資質と能力を身につけている
 - ① 高等学校卒業程度の基礎学力
 - ② 本学の学修を特徴づける「気づきの教育」および「考える学習型授業」・演習科目などにおいて所期の学修成果を得る上での基礎となる、思考力・創造力・表現力などの能力および自ら積極的に多様な人々と協働して学ぶ姿勢

本学は、このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、本学への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

1 商学部マーケティング学科における入学者受入れの方針

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改変する努力を持続することができる学生を育てます。

このために、商学部マーケティング学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、商学部マーケティング学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- マーケティング学科での専門科目の知識・理解力を修得するために十分な基礎的能力を有する
- 各種スキルと論理的思考力に支えられたマーケティング課題の発見、説明・解決力を身につけようという意欲を有する
- 個人のみならず様々な人々と協働して学びながら、ビジネスパーソンに必要な社会的協調力、自発的遂行力、倫理的責任力を身につけようとする意欲を有する

2 商学部経営学科における入学者受入れの方針

商学部経営学科では、企業マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけることで、社会に貢献できる学生を育てます。

このために、商学部経営学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、商学部経営学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- 知識の習得に努めるとともに、それを実践に活かそうとする意欲を有する
- リーダーとなって目標の実現に向け人々を牽引できる素質を有する
- 豊かな人間性と社会的協調性を有する

1 経済学部経済学科における入学者受入れの方針

経済学部経済学科では、経済やまちづくりの知恵を融合し企業や地域社会で活躍できる学生を育てます。

このために、経済学部経済学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、経済学部経済学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- 将来は、経済学や暮らしの基盤づくりに関する知識や知恵を生かして、ビジネスパーソンとして様々な分野で活躍したいという意欲をもっている
- 日本や世界の経済、地域社会の在り方などに関心や疑問を持ち、それらの課題解決に向けて主体的に学び、実践できる資質をもっている
- 日本や世界、地域社会の課題解決に向けて、大学の内外において多様な人々と積極的にコミュニケーションをとり、協働して学ぶことができる資質をもっている

2 経済学部経済情報学科における入学者受入れの方針

経済学部経済情報学科では、経済情報を的確に分析・活用できる学生を育てます。

このために、経済学部経済情報学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、経済学部経済情報学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- 将来は、経済学や情報・通信技術の知識や知恵を生かして、ビジネスパーソンとして様々な分野で活躍したいという意欲をもっている
- 情報化社会に関心や疑問を持ち、その課題解決に向けて主体的に学び、実践できる資質をもっている
- 情報化社会の課題解決に向けて、大学の内外において多様な人々と積極的にコミュニケーションをとり、協働して学ぶことができる資質をもっている

1 人間社会学部心理社会学科における入学者受入れの方針

人間社会学部心理社会学科では、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる学生を育てます。

このために、人間社会学部心理社会学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、人間社会学部心理社会学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- 社会や文化、人びとの意識、心理や行動に強い興味関心がある
- 高校までの基礎的な学問的知識を有しているとともに、経験から得られる知識を活かし、さまざまな人びとの立場になって考え、社会の問題を解決しようという意欲がある
- 心理社会学科で学ぶ知識や技術を活かして社会で活躍する意欲がある

2 人間社会学部観光学科における入学者受入れの方針

人間社会学部観光学科では、観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てます。

このために、人間社会学部観光学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、人間社会学部観光学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- さまざまな社会や文化・風土のもとで生きる人々の多様性を受容し、共感をもって交流することができる
- 自ら課題を発見し、考え、行動することを通じて成長していこうとする意欲がある
- 観光学科で学ぶ知識や技術を活かしてホスピタリティ産業で活躍する意欲がある

3 人間社会学部人間健康学科における入学者受入れの方針

人間社会学部人間健康学科では、健康的で豊かな社会の実現に貢献できる学生を育てます。

このために、人間社会学部人間健康学科では、全学に共通する入学者の受入れの方針において本学への入学者に求める意欲と資質・能力に加えて、次のような意欲と資質・能力をもった学生を求めます。このような学生像に適合する素養をもった多様な入学者を受け入れるため、入学者を選抜するにあたっては、人間社会学部人間健康学科への入学希望者それぞれの資質・能力や意欲を、評価の比重の異なる多様な入学制度を通じて評価します。

- 人の健康やスポーツに対する関心を持ち、それを深く理解しようとする意欲がある
- 自分の知識や意見を人前で分かりやすく伝える能力を高めたいと考えている
- 他の人たちと協力しながら、社会貢献活動や地域の活性化に取り組むことができる